

早期発見が治癒への第一歩

胃がん検診・大腸がん検診を受けましょう

がん検診は受けていれば、がんにならないというものではありません。ただ、適切な方法で定期的に受けていれば、早期に発見され、がんによる死亡率を著しく低下させることができます。また、内視鏡で治療できれば胃や大腸の機能を温存することが可能です。

Point

自身のためだけでなく、大切な家族のためにもがん検診を受けましょう。ただ、要精密検査の判定が出て医療機関を受診する人は70%程度との報告もあります。必ず精密検査を受けるようにしてください。

胃がん

胃がんは塩分やお酒の過剰摂取、ピロリ菌感染などが危険因子となります。秋田県はピロリ菌感染率、胃がんの罹患率、死亡率が全国平均より高いのに、胃がん検診の受診率はおおよそ50%と低いのが現状です。

胃がん検診は胃部X線検査または胃内視鏡検査で行いますが、胃部X線検査で異常があれば胃内視鏡検査で精密検査をすることになります。胃内視鏡検査ではピロリ菌感染の有無も判定できますのでがんの予防にもつながります。50歳以上が対象で2年に1回の受診が推奨されています。

胃がん死亡率
全国
ワースト
1位

全国=100とした場合の胃がん死亡率
(北海道・東北・首都圏のみ抜粋)

2023年

都道府県	標準化比 (全国=100)
全国	100
北海道	104.041
青森県	125.435
岩手県	114.972
宮城県	107.084
秋田県	145.268
山形県	132.279
福島県	115.277
千葉県	97.243
東京都	92.217
神奈川県	92.302

資料/国立研究開発法人国立がん研究センター

【胃がん検診】

- ・50歳以上が対象
- ・2年に1回の受診を推奨

*胃部X線検査(バリウム検査)の対象を40歳以上としている自治体もあり。

大腸がん

大腸がんもまた、秋田県の罹患率、死亡率は全国平均を上回っていますが、大腸がん検診の受診率も低くなっています。大腸がん検診は便潜血検査で行います。これは検便で便に血液が混入しているかを調べる検査で、20ℓの水に血液が一滴混ざっても陽性になるくらいの精度です。陽性判定が出た場合は痔のせいなどと自己判断をしないで、大腸内視鏡検査を必ず受けることが肝心です。40歳以上が対象で年1回の受診が推奨されています。

大腸がん死亡率
全国
ワースト
4位

全国=100とした場合の大腸がん死亡率
(北海道・東北・首都圏のみ抜粋)

2023年

都道府県	標準化比 (全国=100)
全国	100
北海道	117.334
青森県	137.224
岩手県	124.687
宮城県	105.865
秋田県	111.458
山形県	106.337
福島県	106.323
千葉県	99.047
東京都	95.764
神奈川県	96.907

資料/国立研究開発法人国立がん研究センター

【大腸がん検診】

- ・検便で便潜血検査
- ・40歳以上が対象
- ・1年に1回の受診を推奨



桑原内科クリニック(秋田市)
院長

桑原 敏行 くわはら としゆき

プロフィール

秋田大学医学部卒業。秋田大学附属病院第一内科、仙北組合総合病院内視鏡科科長、秋田組合総合病院消化器科科長を経て2004年に桑原内科クリニック開院。医学博士。日本消化器病学会認定 専門医。日本内視鏡学会認定 専門医、指導医。



全国健康保険協会 秋田支部
協会けんぽ